（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふくら翼・渚（ふくらトータルケアつくば）			
○保護者評価実施期間	R8年　2月　1日	～	R8年　2月　28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	3
○従業者評価実施期間	R8年　2月　1日	～	R8年　2月　28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　3月20　日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動内容の充実 外出や日々の活動において、季節の行事やクッキングでの食育など、多職種が月ごとに担当を変えて計画・立案を行っている。その為、内容に偏りなく様々な活動内容となっている。	担当を変えながら多職種が計画・立案を行うことで、それぞれの専門職から多角的にアプローチができるよう工夫している。また、必ず利用者様がどのように感じていたのか、スタッフ間で話し合い、次回の活動につなげられるようアプローチの仕方を思考している。	年間を通した活動計画を立てていき、少しでも利用者様の色々な引き出しを増やしていけるよう活動内容を充実させて行きたい。また、他事業所での取り組み等も積極的に勉強し、利用者様に合わせてアレンジを加えながら活動計画に生かしていきたい。
2	・情報共有のシステム化 利用者様やご家族よりご連絡があった場合の情報共有方法について比較的整備されており、情報共有をなるべく早くすべてのスタッフへ迅速に行う仕組みづくりがされている。	その日の共有事項については、朝の会やお昼の会で必ず時間を設けて連絡帳や送迎時のご家族様からの情報提供をもとにスタッフに周知している。また、先の予定や継続的な支援を必要とする場合等は必ずLINEWORKSを使用し、全体周知に努めている。	不備があることもあるため、日々スタッフ間で声掛けやコミュニケーションをこまめに取り、さらに良くして行けるよう努めていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館、地域の子どもたちとの交流 スタッフ間でも度々話題に上がっているが実現に至っていない。	・事業所内での支援や活動の充実を優先して取り組んでいる中で、外部との交流に関する具体的な計画や機会の設定が十分に行えていない。 ・安全面や個々の特性に配慮する必要があり、実施方法の検討に時間を要している。	・子どもたちの状態や特性に応じた無理のない形で、地域との関わりを持てる方法を検討する。 ・近隣の幼稚園・保育園等と情報交換を行い、小規模な交流や見学など段階的な関わりから取り入れていく。 ・職員間で役割分担を行い、計画的に外部との連携機会を確保していく。
2	・ご家族が参加できる研修等の実施 ご家族より開催にむけてお声を頂いているが実現にいたっていない。	・ご家族向けの研修について、ニーズは把握しているものの、実施時期や内容、参加しやすい方法の検討が十分に行えていない。 ・ご家庭ごとに状況が異なるため、全体に向けた研修の内容設定や参加しやすい形式の検討に時間を要している。	・ご家族のニーズを改めて把握し、テーマや開催方法（対面・オンライン等）について検討する。 ・短時間や少人数など、参加しやすい形での実施を段階的に取り入れていく。 ・日々の支援の中での情報共有に加え、研修という形でも学びや交流の機会を提供できるよう体制を整える。
3			